

お母さんのひきがえる

小川未明

青空文庫

かえるというものは、みんなおとなしいものですけれど、この大きなひきかえるは、た
くさんの小さなひきかえるのお母さんであっただけに、いちばんおとなしいのでありまし
た。

町の裏は、坂になって、細い道がつづいていました。道の両側はやぶになっていま
したので、そこに、かえるはすんでいたのであります。去年のちようどいまごろにも、
このお母さんのかえるは、坂の通りへ出て、小さな子供たちのぴよんぴよんおもしろそう
に飛ぶのをながめていました。

往來を歩く人は、みんなこのかえるを見てゆきました。

「かわいらしいかえるだこと、踏まないようにしてゆきましようね。」と、女の子たちは
いつて、避けて歩いてゆきました。

お母さんのかえるは、ほんとうに、人間というものはしんせつなものだと思いました。
やがて、今年もその時分になったのです。五月雨時分の坂道は、じめじめとして、や
ぶの草木は、青々としげりました。お母さんのかえるも去年のように、道の上へ出て
いました。

ある日のこと、この大きなかえるは、人間の住んでいる家は、どんなような有り様だろうと思ひました。

「ひとつ、今日は見物にいつてみましょう。」といつて、のこのこと坂を下りて、町へやつてきたのでした。

かえるの足は、のろかったから、町へきた時分は、もう、かれこれ晩方になっていました。

「まあ、一軒、一軒、歩いてみることにしよう。」と、大きなかえるは思ひました。

人間というものは、みんなやさしいものだと思つていたかえるは、なにもほかのことを考えませんでした。すぐ、その一軒の入り口からはいりました。

その家は、米屋でありました。米屋のおじいさんは、なにか、黒い、大きなものはいつてきたと思つて、よく見ますと、それは、ひきがえるでありましたから、

「まあ、まあ、こんなところへはいつてきては困るじやないか。さあ、出ておいで。」といつて、おじいさんは、笑いながら、かえるを棒の先で、往来へ出してしまいました。

お母さんのひきがえるは、かくべつそれを悲しいとも思ひませんでした。こんどは、隣の家へはいつてゆきました。

隣となりうちの家は、炭屋すみやでした。おかみさんが、冬ふゆの用意よういに、たどんを造つくっていましたが、ひきがえるがはいつてくると、

「こんなところへはいつてくると、真まつ黒くろになつてしまふよ。さあ、あつちへおゆき。」といつて、そこにあつたほうきで、かえるを往來おうらいの方ほうへはき出すまねをしました。

お母かあさんのひきがえるは、これを悲かなしいとも思おもいませんでした。おとなしく、その家うちを出るとまた、そのつぎの隣となりうちの家の方ほうへ歩いてゆきました。晩ばんがたの空そらは晴はれていました。かえるは、入り口いぐちからはいると、きれいな水みづがあつて、魚うおがたくさん泳およいでいましたから、大おお喜よろこびでいきなり中なかへ飛び込こみました。

「あつ。」といつて、そこにいた子供こどもたちは、みんな驚おどろきました。その家うちは、金魚屋きんぎよやだったのです。金魚屋きんぎよやのおじいさんは、すぐにひきがえるを網あみですくつて、外そとの往來おうらいの上うえへぽんとほうり出だしました。子供こどもたちは、また、どつと笑わらいました。

お母かあさんのかえるは、自分じぶんの子供こどもたちのことを思おもい出だして、暗くらい坂さかの方ほうへ歸かえつてゆきました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 5」講談社

1977（昭和52）年3月10日第1刷発行

※表題は底本では、「お母《かあ》さんのひきがえる」となっています。

※初出時の表題は「お母さんの蟬蛙」です。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：雪森

2013年5月4日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

お母さんのひきがえる

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>